

富士議員



町民文化祭について

今後実行委員会で検討していきたい (中村生涯学習課長)

開会式については、数年前より実行委員会の意向で現在の場所となつている。また、シャトルバスについては、限られた予算のため、当面は公共交通機関利用の啓発等により、全体の車の量を減らす方向で努力したい。これらについては、今後、実行委員会で検討していきたい。

町民文化祭の開会式は、玄関ホールではなく講堂を使って欲しい。また来場者のため、シャトルバスを走らせてはどうか。



南田議員



深原地区保安林開発について

事業実施に向けた取り組みを進めることが適当と考える (三村町長)

町が一定のルールを定めた上で土地利用を行うことで、地元住民が不安に思う産業廃棄物処分場などとして利用されることを防ぐことができる。といったメリットに加え、事業効率やコストの面からも、今回事業実施に向けた取り組みを進めることが適当であると考えている。

この山は急斜面で保安林であり、流出の危険がある。また開発地としても条件が悪いし、現在の経済情勢では需要がないと思うがどうか。

町実施の学力テストの存続について

学力向上に有意義であるため継続していく (加藤教育部長)

町内二斉テストによって学力向上のための課題を把握し、主要教科の教科部会を開いて課題解決に向けて取り組んでいる。現在は熊野高校の先生も交え、小中高共通の課題にも取り組んでいる。このテストは、子供達の学力向上に非常に有意義であるため、今まで同様実施していきたい。

全国学力テスト等についても大規模な縮小に迫られている。町独自で実施してきた学力テストはどうするのか。

山野議員



町民の安全について (カーブミラーの維持管理)

現地調査を実施し、適切な維持管理に努める (森本建設課長)

設置位置は道路台帳に記載しているが、劣化状況は細かく把握ができていないため、対応策が必要と考えている。今後は、道路台帳に基づいて現地調査を実施し、老朽度を把握して計画的な改修を行うとともに、適切な維持管理にも努め、町民の安全安心を確保したい。

カーブミラー設置後の鏡面の状況や劣化状況を把握していない。設置だけでは安全は確保されない。町民の安心安全をどのように考えるのか。

藤本議員



山吹議員



書写教育について

来年度から小学校低学年に書道科を新設する (西原教育長)

書道教育特区の小学校を視察に行ったところ、低学年が筆を持ち、心を落ち着けて書道を行っていたため、熊野町でも導入したいと考えた。その後町内の小学校1年生の保護者にアンケートを行ったところ92%が賛成の意を表した。校長会等でも了承をいただき、来年度から年間15時間の書道科を新設することとなった。

来年度、小学校1、2年生を対象とした書道教育を行うと聞いたが、進捗状況について聞こう。

伊藤議員



主要計画道路の進捗状況について

県道を中心に各線で事業は進められている (上馬場建設部長)

県道矢野安浦線については、川角工区↓拡幅工事のための用地買収、萩原工区↓トンネル工事着手に向けた関連工事や設計、道垣内交差点↓10月末に地元説明会を実施、という状況。県道瀬野呉線は、矢野安浦線バイパス延伸時に接続する区間の用地買収が進められている。町道出来庭川角中央線についても来年度から工事に着手したい。

県道矢野安浦線等町内の主要計画道路の進捗状況はどうか。